

令和4年度 第1回学校運営協議会 議事概要

開催日：令和4年6月9日（木）

時 間：14：40～16：50

会 場：深沢高等学校会議室

司 会：河邊総括教諭

記 録：学校運営協議会事務局

<出席委員>

池 田 吉 伸 委員

里 見 正 憲 委員

竹 村 聡 美 委員

堀 井 久 章 委員

田 中 和 也 委員

（委員総数5名、欠席3名）

<説明のための出席教職員>

村 田 克 也 副校長

沼 田 伊 里 教頭

高 野 真 一 事務長

大 谷 英 弘 総括教諭

河 辺 尚 宏 総括教諭（司会）

小松原 肇 総括教諭

佐 藤 準 也 総括教諭

山 本 英 夫 総括教諭

石 橋 力 教諭（記録）

<公聴者>

新型コロナウイルス感染予防のため、公聴席を設けませんでした。

<議事等の概要>

1 授業参観

校内を移動し、秋に行われる文化祭「深高祭」参加企画のクラス討議（全学年のロングホームルーム）を参観していただきました。

2 出席者あいさつ

田中校長

皆さんこんにちは、本日学校運営協議会にご参加いただきありがとうございます。本年度着任しました校長の田中です。コロナとの戦いが続いています。学校行事がだんだん実施できている状態です。延期になっていた修学旅行は、3年生の4月に実施し無事に終わることができました。先週6月2日の体育祭もなんとか実施できました。本校の生徒は他高生と比べても一生懸命に取り組む姿勢があります。

運営協議会委員の皆様には、6時間目の授業参観でロングホームルームの様子をご覧いただきました。ちょうど9月の文化祭について、クラスでの話し合いをしていました。コロナ禍での社会情勢には見通せないこともありますが、今後も学校行事をなんとか実施させていきたいと思っております。短い時間ではありますがよろしくお願いいたします。

桜美林大学 里見委員

桜美林で高大接続アドバイザーをしています。もともとは公立学校の教員でした。その後、母校の高校、大学にも貢献する機会がありました。深沢高校にも学校運営協議会委員としてお力添えしたい。申し上げるべきことがあれば申し上げたい。

P T A会長 竹村委員

本年度の本校P T A会長として活動しております。学校運営協議会の委員としても初めての活動で、勝手のわからないこともあります。いろいろなことを教わりたいので、よろしく願いいたします。

鎌倉市立手広中学校長 池田委員

現在、鎌倉市立手広中学校で校長をしています。コロナ禍のために深沢高校を訪れることができませんでしたが、今日は授業参観で生徒の笑顔が見られて嬉しく思いました。手広中学校も学校運営協議会を設置しているため、本日は勉強させていただきます。

同窓会副会長 堀井委員

深沢高校の1期生です。同窓会もコロナ禍で思うように活動できていませんが、深高生の部活動での活躍を聞き及んでいます。頑張る生徒を少しでも応援していきたいと思っています。

3 今年度の会長及び副会長の選出

本校P T A会長の竹村委員を会長に選出、手広中学校長の池田委員を副会長に選出。(以下の進行は会長・副会長が議長・副議長として行われました。)

4 協議：令和4年度の教育活動目標設定について

(1) 教育課程・学習指導について 小松原総括教諭

教育課程では1年生では新課程が、2、3年生では旧課程が、混在している状況です。1年生の新課程は評価の観点が変わってきており、活動例が探究活動やグループ活動に変更されています。单元ごとにしっかり見取っていくことが求められます。例えば定期テストを待つばかりでなく、单元ごと、授業ごとに評価を行います。本校も授業研究という取組を行っていますが、形成的評価とICT利活用の2つを研究の観点として取組んでいます。

また、1年生は一人1台端末をご家庭で購入して用意してもらっています。本校ではiPadという社会的に評価を得ている機種を推奨し、授業にも活用しています。授業での有効な利活用について私も勉強しているところです。

(2) 生徒指導・支援について 山本総括教諭

生徒会・部活動指導では、資料のとおり生徒の図書館利用の活発化、部活加入率の向上を目標に努めています。しかし、中学生の時に十分な部活動ができなかったためか、今年の1年生

の加入率が低い状況です。

1週間前に体育祭を実施することができました。天候にも恵まれ、3学年を縦割りで6色に分け、1、2、3年合同で協力してできました。なるべく密にならない種目を選びました。熱中症等で倒れる生徒はおらず、無事に終わることができました。現在の生徒の取組は文化祭参加の内容決めです。図書館は活用活発化のため活動を行っています。

2学年の修学旅行では、9月に防災学習を岩手で行います。被害にあったホテルに泊まり、震災・防災を実感する学習計画です。

(3) 進路指導・支援について 佐藤総括教諭

昨年度卒業生の進路決定状況では、四年制大学60%、専門学校25%、短大5%、その他です。一般受験者の率が増えましたが、2/3が推薦・総合型です。指定校推薦を希望する者が多い中でも、一般受験で高い目標を設定させ、早期の進路指導を充実させていきます。また、インターシップを通して、進路意識を高めます。

職業意識を持たせるために金融教育も企画しました。推薦入試対策についても、志望理由書や入試小論文の添削にも力を入れていきます。

(4) 生徒指導について 大谷総括教諭

生徒指導、支援について説明させていただきます。挨拶を生徒指導の軸にしていますが、挨拶は手段であり、目標は生徒の人間関係構築力の育成にあります。コロナ禍に入ってからの影響でしょうが、感情のコントロール等が難しい生徒が入ってきました。そのような生徒に対してどうケアしていくかが今年度の課題の一つです。

また、いつも自転車通学のマナーについて近隣からご意見をいただきます。このような迷惑を地域にかけないように指導したいと考えます。感染対策については、黙食指導などの学校生活を規制するガチガチの指導からどこまで緩和できるかが課題です。生徒指導は以上です。

2年生の9月から延期されていた修学旅行については、3年生4月に実施しました。3月の遠足は、入学して以来の初の校外学習でした。その後すぐの修学旅行になりました。実施場所は阪神・淡路でした。互いに時間厳守や感染対策に気を配りなら、防災学習を実施することができました。

最後に自転車競技部の顧問として報告します。3年生関口が関東大会のロード部門で優勝してきました。同窓会の皆さんには多大な支援をいただいて、ありがとうございます

(5) 地域との協働について 河邊総括教諭

今年から2つのグループの総括を担当しています。地域との協働で特に力を入れているのがボランティア委員会による地域活動です。夏休みからは中学生向けの学校説明会が入ってくるので、深沢高校の良いところを伝えられるように頑張ります。

(6) 学校管理・学校運営について 河邊総括教諭

学校管理グループの式典運営では、卒業式及び入学式を、生徒に対して保護者一名参加で、なんとか理解を得て実施させてもらっています。コロナ禍でもありますが、保護者も参加しての式典ができて一安心でした。

学校の中では去年と同じようにゴミ箱は置かないで、各自ゴミの持ち帰りを行っています。コロナ前の状況には戻せそうにありません。

(7) 学校施設開放の状況 高野事務長

地域住民の身近な活動の場として本校施設のテニスコートを開放しています。今年度は2団体から施設開放の要請がありました。なお、昨年度登録していた2団体は登録を辞退しました。施設開放は、毎日曜日の13時から17時までですが、公式戦や練習などで本校生徒が使用する日などは開放していません。

(8) 年間行事計画、職員の勤務状況について 村田副校長

効率的な学校運営を行うように努めています。昨年は学校行事の中止、延期続きでしたが、今年は今のところ順調に実施することができています。修学旅行や体育祭などは延期があったため、残業は正直ありましたがそのおかげで実施できています。今後も職員の健康管理に努めていきます。

4 各委員からの説明に対する質問や感想

里見委員：ロングホームルームを授業参観して、協力的にやっていたため、素晴らしかった。ヤングケアラーの話テレビで聞くが、生徒相談もしっかりやっているといます。目立たない生徒等がいると思うが目を配るよう配慮をしてもらいたい。

新指導要領によって探究活動が明示されました。課題解決のために多角的にみることで、大学の学びにスムーズに繋がられます。探究活動をしっかりやってください。主体的な生徒を育てたいということだが、ぜひともよろしく願います。楽しみにしています。

回答：ヤングケアラーについてはSCやSSWと連携して生徒を支援しています。適宜、拠点校からSSWを派遣してもらっています。ヤングケアラーは最近報道されることが多くなりました。把握しにくい部分がありますが、本校には生徒相談担当者会議という情報共有の組織があり効果的に動いています。SSWと連携して生徒の負担を減らしたい。個人的には支援を必要としている生徒が助けられていると把握しています。
(沼田教頭)

里見委員：1つ追加します。大学入試等の選抜では自己PRの機会が多くありますが、コロナ禍の活動制限のために生徒が自信を持って話せることが少なくなってきました。自

信を持って言えることが増えるよう指導をよろしくお願いします。

堀井委員：先生方から生徒に対して、様々にご尽力してもらっています。ヤングケアラー問題について教頭からもあったが更に深く聞きたい。コロナ禍もあり心のケアをしてもらっていると思うが、生徒が抱えている心の問題を福祉の目線から見るSSWの力が必要でしょう。早期発見に活用してもらいたい。

これは1つの活用例ですが、施設・校舎の開放活動があり、テニスコート等もそうですが、生徒には集まれる場所が必要になってきています。居場所が必要です。保護者もそれを願っています。地域との繋がりを増やしてほしい。先生方には土日でも部活をやってもらっていて本当に忙しい中でかなり厳しいところですが、部活動指導員など外部との連携を活用して、先生方には余裕ある状態で生徒と関わって欲しいと思っています。

回答：ヤングケアラーについては教頭から説明がありましたが、SSWと連携して家庭に対する支援を行っています。成人年齢が18歳に変わったため支援制度も変わった点があり、SSWとの連携を重視しています。

本校は小規模校でクラスが少ない分、体育館、グラウンド、テニスコート等の施設が使いやすく、試合会場になることが多い状況です。部活動インストラクターは配置されていますが、土日の引率を単独ではできません。部活動インストラクターが単独で指導や引率を行うには、体罰・セクハラ防止を始めとして相当な研修受講が必要になり、実態として難しいところがあります。(村田副校長)

堀井委員：18歳の境があるが、その枠を超えたときに青少年から成人になっていく中で、生徒をどう支援するか、どう指導していくか。よろしくお願いします。

池田委員：単元テストのことですが、テストをこまめに行っているため毎日テストだから、かえって大変になりました。ひとまとめにしてもいいのではないのでしょうか。教育課程を先行した中学ではこまめな採点で結構大変になりました。うち(手広中学)では今年からテストを減らしています。子どもたちは試験の結果から評価を気にしています。

高校では学費等での保護者負担が大きくなりますが、支援制度への申請状況はどうなっていますか。

回答：単元テストについて、今のところ負担が増えた感じはありません。単元ごとにテストを行うというより、プリント等により探究活動を行った成果を記録し採点していきますが、1年生の授業では負担が増えたという声はあまり聞こえません。ご意見をありがとうございました。(小松原総括教諭)

回答：授業料減免や修学支援金等の支援制度があり、申請は全校生徒数約 670 人のうち 50 数名であり 1 割未満です。経済的に困っている保護者、ご家庭は少数といえます。それだけに学校生活で肩身が狭いと感じることがないように配慮していかねばなりません。
(村田副校長)

回答：外部の部活動インストラクターは予算がついており、活用しています。報道されている部活動指導員は使い勝手が悪くて、社会の第一線をリタイアされた方や学生等の案内が来ますが、学校の希望にマッチせず活用は難しいところです。

竹村委員：高校 3 年生の娘の保護者として参加しています。子供が学校であったことを家で話していますが、子供からの情報だけではわからない学校の取組を今日は知ることができました。

新カリキュラムが高校 1 年生でしか始まっていないため、3 年生の娘にはタブレットがなく残念です。先生方には評価の難しい課題を頑張ってもらいたい。

体育祭では 3 年生が 1、2 年でできなかったことを挽回できてよかったと考えています。保護者として胸が詰まりました。次の文化祭のときに保護者として楽しみにしています。

本日の協議を終了することができました。議事運営にご協力ありがとうございました。

田中委員（校長）：委員の方々ありがとうございました。委員の先生から貴重な意見をいただきました。今後の学校教育活動に活用していきたいと存じます。

具体的には、里見委員からの面接試験に向けての指導の話はごもつともでした。

堀井委員からは部活動インストラクターの話から、池田委員からは部活動顧問のご助言をいただきました。文科省から部活動指導員の案が出てきていますが。中体連も高体連もその組織を作っているのが教員ですから変えるのは難しく、実施していくのは大変です。教員には土日どちらかでも何とか休んでももらいたいとは思っています。

竹村委員のご心配にあった ICT を活用した授業については、1 年生のみだけでなく、2、3 学年でも行っています。1、2、3 年で質に違いのない教育を提供しています。

次回 11 月の学校運営協議会でもよろしくお願いたします。本日はありがとうございました。

以上